

中休みに出てくる、ふしぎな生き物

町田第一小学校 三年

廣瀬 かんな
ひろせ かんな

ある日わたしは、友だち（大親友）と、お話をしていた。すると、大親友のことねちゃんが、

「ねえねえかんなちゃん」 そういわれて、「え？ なあに」とわたしは聞きかえした。ことねちゃんがいきなり「あの・・・三年生になつてしまなのにおかしいのかもしれないけど、星つてどうゆう物なの？」

ことねちゃんが「どうゆう物なの？」と言つたしゅんかんに、ことねちゃんの顔がかあつと赤くなつた。「くすくすくすくす」わたしが、ことねちゃんの顔が、めっちゃくちゃ赤いのが、おもしろくてわらつたら、

「もう！ かんなちゃんわらわないでよ！」

「（ぐ）めん」わたしは、ひつしにわらいをこらえながら「いいよいよおしえてあげる」と言つた。「星はね・・・」そう言おうとしたしゅんかんになんかおかしなきいろいろいぶつたいがおちてきた。（何？ このへんな生き物みたいなやつ）たぶん、ことねちゃんも同じことを思つていたのかな？ ことねちゃんも、目を大きくして、口をぽかんとあけて、何かを考えている様子だつた。わたしたちが、そのぶつたいにびつくりして、頭がまつしろになつていたのは、一分くらいの間だつたんだと思うけど、その時間が、わたしには、すごくくながく感じた。するととつぜん、へんな星がわたしたちのめのまえにきた。するといきなり星がしやべりだした。

「ぼくはほしのしほだよ。ほしだからさかさにしてしほ。なーんちやつて、たまたま、たまたま。」

ことねちゃんは、びっくりしすぎてかちんこちんにかたまつていた。しばらくするとことねちゃんが、

「あーとあなたつ何物？」 と言うとしほが

「ほしもの。だけどあなたじやなくてぼくのことしほってよんできね」わたしたちは、大ばくしょうしてしまつた。でもそのしゅんかんに中休みのチャイムがなつた。するとしほが、「もうかえらなきや」 そう言つた。そう言つ

審査員賞

廣瀬かんな 「中休みに出てくる、ふしぎな生き物」

審査員賞

廣瀬かんな 「中休みに出てくる、ふしぎな生き物」

たとき、ことねちゃんが「えつ？ どうして？」と聞いた。するとほし・・・
じやなくてしほが、

「だつてぼく、中休みのスターだもん！」しほの言葉にことねちゃんはぼう
ぜんとしている。しばらくするとことねちゃんは、「あー？ そう。バイバー
イ。またいつか！」とバイバイしたのは一か月前のこと。さいきんほしの話
をしても、しほは出でこなくなつた。ある日、うちに手がみがとどいた。そ
れは、しほはから。手がみには、こんなことが書いてあつた。

「きみへ

このまえはありがとう。ぼくは今、大人になつて、りつぱにかがやいている
よ

しほ

わたしはこの手がみをよんでも、夜空をみ上げた。するとしほが、わらつた
ように見えた。

(1045文字)

審査員講評

出てくるキャラクターが全員いとおしいです。単にストーリーが進んでいくだけではなく、台詞や表情など
かわいい世界観が一貫していて、楽しんで書いている
のがよく伝わってきました。中休みに星が現れるとい
う発想は、大人にはなかなか出てこないものだと思いま
す。

—— 藤岡みなみ